



sato

セルフメディケーションをサポートします HEALTHCARE INNOVATION

2013年1月 記載要領変更に伴う改訂

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



2段階作用でスムーズな効き目
便秘治療薬

サトラックスエース

便秘に伴う肌あれ、吹出物の緩和に

サトラックスエースは…

- 胃で溶ける外層成分と腸で溶ける内核成分の2段階作用でつらい便秘にすぐれた効果をあらわします。
- 便秘に伴う肌あれ、吹出物の緩和にビタミンB₆を配合しました。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
他の瀉下薬(下剤)
2. 大量に服用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 次の症状のある人。



はげしい腹痛、吐き気・嘔吐

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

関係部位	症状
消化器	はげしい腹痛、吐き気・嘔吐

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

下痢

4. 1週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

【効能】

- 便秘
- 便秘に伴う次の症状の緩和：肌あれ、吹出物、食欲不振(食欲減退)、腹部膨満、頭重、のぼせ、腸内異常發酵、痔

【用法・用量】

下記の1回服用量を就寝前(又は空腹時)に服用します。

ただし、初回は最小量を用い、便通の具合や状態をみながら少しずつ増量又は減量してください。

年齢	1回服用量	1日服用回数
大人(15才以上)	1~3錠	1回
11~14才	1~2錠	
11才未満	服用しないでください	

★裏面につづく

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)服用前後1時間位は制酸剤や牛乳を飲まないでください。(本剤の内核コーティングが制酸剤や牛乳により胃内で溶解し、腸での作用が弱まる場合があります。)

(4)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



〔成分・分量と働き〕3錠中

成分	分量	働き
ピサコジル	15mg	腸に直接作用し、腸のぜん動運動を高め、排便をスムーズにします。
ジオクチルソジウムスルホサクシネート(DSS)	24mg	硬くなった便に水分を浸透させて適度に柔らかくします。
ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB ₆)	50mg	便秘に伴う肌あれ、吹出物に効果をあらわします。

添加物として、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、三二酸化鉄、ステアリン酸Mg、ヒプロメロースフタル酸エステル、グリセリン脂肪酸エステル、セラック、セルロース、リン酸水素Ca、無水ケイ酸、ヒプロメロース、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、ポビドン、赤色3号を含有します。



1st step

ジオクチルソジウムスルホサクシネート(DSS)が、便に水分を浸透させ、適度に柔らかくします。

2nd step

ピサコジルが腸に直接作用し、排便をスムーズにします。

◎保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



◎便秘にならないためのアドバイス

1.規則正しい食生活を心がけましょう。

- セニイの多い野菜(いも類、ごぼう、セロリなど)や、海藻類、寒天、こんにゃく、果物などをたっぷりとりましょう。
- 特に朝食はきちんととるようにしましょう。

2.規則的な排便の習慣を身につけましょう。

- 朝、時間を決めてトイレに行くようにしましょう。

3.適度な運動を心がけましょう。

- 全身を使う運動を心がけましょう。
- おなかをマッサージするのも効果的です。

4.水分を十分にとりましょう。

- 水分を多くとると腸の内容物が腸管を通過しやすくなります。朝食前にコップ1杯の水を飲むと効果があります。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号